

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		2025年 3月 19日	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		児童発達支援ガイドラインのねらい及び支援内容を踏まえたうえで、支援内容を検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		日々子どもたちの姿に合わせ、職員で活動内容を検討しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		活動が固定化しないよう、子どもたちの姿に合わせ、様々な活動を設定しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		子どもの状況に合わせ、個別活動や集団活動を取り入れています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		出勤後、必ず職員間で当日の利用者様に合わせて支援内容を確認しております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後、その日の支援内容を振り返り、子どもの様子、気づいた点について共有を行っております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援内容や子どもの様子を記録し、職員間で共有し、次の支援に活かしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		一人ひとりの支援計画に基づき、モニタリングを行うとともに、必要に応じて見直しを行います。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの状況に応じて職員が参加しております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		保護者のご希望を伺いながら、所属の保育園やこども園、学校、アーチル、行政等の関係機関と連携しております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		子どもの様子を踏まえたうえで、保護者様の意向を伺いながら、移行支援をすすめている。また、保護者様の同意を得たうえで、所属先との情報共有を行っております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		保護者様の同意を得たうえで、所属先との情報共有を行っております。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		利用者様を通して、連携させていただいたり、研修に参加させていただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		姉妹園の運動会練習に参加する等しています。

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時に支援の様子をお伝えしたり、HUGのシステムにて詳細を報告しております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		ペアレントトレーニングという形ではないが、「子育て支サロンぽむ」の場を設け、支援の様子を見て頂いたり、保護者様同士で情報交換できる機会を設けました。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に行い、事業所にて閲覧できるように掲示しております。
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		児童発達支援計画の作成時には、保護者様との面談を行い、現時点までの経過を振り返り、意向をお伺いしながら作成しております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		保護者様と一緒に児童発達支援計画をご確認いただいたうえで、同意をいただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		モニタリング時だけでなく、保護者様からのご相談をいただいた時やお子さまの状況によってこちらから提案し面談を行っております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		きょうだい同士の交流はありませんが、保護者会では、一緒に参加できる機会を設けております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		ご相談の申し入れをいただいた際は、迅速に対応させていただいております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		SNSやHUGのシステムを利用しご連絡させていただいております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		お預かりした書類等は、細心の注意を払い保管しております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		お子さまの特性を把握し、職員で共有しながら、一人ひとりに合わせた対応を行っております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		利用者様だけでなく、地域の方も含めた、子育てイベントを行っております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		契約時にご説明し、訓練を行った際は、HUGのシステムにてお知らせしております。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCP計画を策定し、研修・訓練を行っております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		アセスメントの際に、確認させていただき、職員内で共有しております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		現在、医師の指示書が必要な利用者様はおりませんが、アレルギーの心配のある方については、情報を共有し、昼食やおやつ提供の際に確認してうえで提供しております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を策定し、研修・訓練を行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		契約時にご説明させていただいております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		事業所内で共有し、職員会議等で話し合い、再発防止に向けて対策しております。

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的に研修を行い、虐待防止の対策を行っております。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、ごどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		虐待防止対策と共に、身体拘束についての研修を行い、必要と判断した際は、事前に十分説明した上で児童発達支援計画に記載していきます。